

今月から、私が考える香南市について  
 少しずつ紹介していきたくと思っています。



清藤 真希

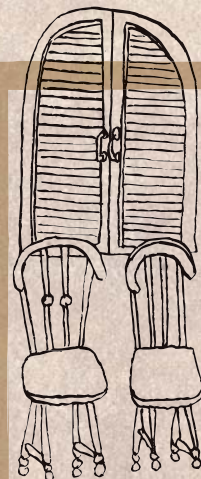
9月は、晴れていたかと思えば雨、また雨。すっきりしないお天気続きでした。10月は地域の運動会シーズン。うららかな秋晴れになってほしいものです。

さて、皆さんは今年の夏、どのように過ごされましたか？

『いつもと変わりなかった人』…平穩に過ごせた証拠。いいことですね。

『ロンドンオリンピックとパラリンピックに夢中だった人』…私も眠いのを我慢してテレビを見た一人です。メダルの数もさることながら、最後まであきらめないで全力を尽くす選手たちの姿。そして、どの選手もが語る支えてくれた人たちへの感謝の言葉。その言葉がより一層の感動をもたらしてくれました。

これからの季節は、「○○の秋」で表現されることが多いですね。私にとっては、趣味の一つでもある「読書の秋」です。皆さんにとっての「○○の秋」は何ですか？素敵な秋が見つかるといいですね。



## まちづくりと住民自治

私は「まちづくり」を考えると、3つのことを基本に考えています。まず1つが香南市の自立です。今、国や大企業は、地方都市を支援する余裕すらなくしつつあり、元氣な香南市をつくるためには、自分たちの力で生きる道を確保しなければなりません。そのためには、地域独自の産業を育成すること、安全で快適な居住環境地をつくること、が重要になってきます。

そして2つ目は、住民自治です。香南市の実情に合った地域独自のまちづくりは、皆さんの意見が反映されていなければ意味がありません。皆さんの意見をお聞きしながら、行政施策を一緒に考えていくことができる香南市でありたいと思っています。そして3つ目は、市民一人ひとりの生活を応援し、人生を支援していくことのできる行政でありたいということです。人生には、いくつもの節目があり

ます。乳幼児期・就学期・就労期・老年期・晩年期など、それぞれの節目に必要なサポートができる行政を目指したいと思っています。この人生支援については、来月号で詳しく、紹介いたします。

そこで、「まちづくり」の第一歩として、10月2日から11月12日まで、香南市内23カ所で開催される地区懇談会を開催します。地域のことを皆さんといろいろお話したいと思っています。ぜひ、ご近所お誘いあわせの上、最寄りの会場までお越しください。

### 住民自治とは…

その地方公共団体の施策の政策決定のプロセスに住民が参加することをいいます。

今、香南市に不足しているのは、住民が我がまちをもっと身近に感じ、さまざまな施策にもっと入り込み、協働で取り組む環境をつくることです。住民自治が機能している自治体は元氣があります。『任んでよかったと思えるまちをつくる』より、『任んでみたくなるまちをつくる』ことが目標になれば、香南市は希望と力があふれるまちになります。

# 敬老の日を寿ぐ

## 祝



9月15日(土)、のいちふれあいセンター・サンホールで、今年度「喜寿・米寿・白寿を迎えられる方と百歳以上の方を対象にした敬老式典と演芸会」が開催されました。会場では久しぶりに会う友人との会話や、笑い声があちらこちらで響いていました。演芸会では、子どもたちによるバレエや、舞踊など、さまざまな催しが行われ、参加者を楽しませてくれました。

また、各地域の敬老会は、昨年より1地区多い37地区で行われ、趣向を凝らした出し物に笑い声があふれていました。

香南市の75歳以上の方は5,345人。そのうち喜寿を迎えられる方は383人で、米寿が191人、白寿が16人です。そして100歳以上の方は35人おられます。これからもお元氣でお過ごしください。

◇今日という日を迎えてどのようなお気持ちですか？



自分の年を考えたこともありませんでした。知らん間に年をとっていくということは幸せなことです。  
 米寿 竹村速夫さん (赤岡町)



病気がちだったので喜寿を迎えられて嬉しく思います。これからも元氣に過ごしたいです。  
 喜寿 島崎喜久子さん (吉川町)



東京から嫁いできて50年以上になりましたが、高知に来てから、いつの間にか時が過ぎ、今を迎えています。  
 喜寿 内田道子さん (夜須町)

## 笑顔の花咲く地域の敬老会

### 長寿おめでとう

